

今月の主な内容

- 1面：前期入試合格発表
- 4面：マネージャー特集
- 8面：フォルサ、全日で健闘



携帯HP

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/ 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502 電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メールnewsnet@std.kobe-u.ac.jp

しらすな会
軟式・硬式ピッチングマシン貸出無料!
体育館・野球場・テニスコート・その他手配万全!
南紀白浜サークル
合宿情報
〒649-2211
和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
電話0120-53-1662
http://www.shirasunakai.jp/

4月号

前期入試合格発表

今年も神戸大に笑顔咲く

1939人の新神戸大生が誕生 後期入試も実施される

神戸大の平成21年度前期入学試験の合格発表が、3月9日に学内各キャンパスで行われた。合格した11学部、合計1939人の受験生が、神戸大生として新たな一歩を踏み出す。

2月25日、神戸大の個別学力検査（前期日程）が、各キャンパス内の試験会場で行われた。全11学部の定員1809人に対して5669人が志願。神戸大全体としては倍率3.1倍

とほぼ昨年（3.2倍）並みの競争率となった。雨の中、試験会場に続々と受験生が集まる。試験官が試験に関する注意事項を説明する間も、会場内には独特の緊張感が漂った。愛媛県出身の男子受験生は「今まで自分がやってきた勉強を信じて全力を尽くす」と意気込みを語った。

前期入試合格発表当日、3月9日、「ここ（神戸大）に来れるとは思ってなかった」。合格した受験生の中からこんな声も聞かれた。午前10時の合格発表とともに、あちこちで喜びの声が上がり、中には泣き出す受験生もいた。和歌山県から合格発表を見に来た経済学部合格者は「うれしい。センターが駄目だったので、突っ込んで勉強した感じだった。大学で

はやりたいことを見つけた」とこれから始まる大学生活に期待を膨らませている。3月12日、個別学力試験（後期日程）が各キャンパスで行われた。全11学部の募集定員544人に対して、5386人（昨年6115人）が志願。2748人が受験。受験者数、受験率ともに昨年より減少する科目が目立った。晴天の下、足早に試験会場へ向かう受験生。午前9



合格を祝い、胸上げられる受験生。（3月9日・六甲台キャンパス第一学舎で撮影＝浅井淳平）

ESD シンポイン KOBE

「学生は自由に幸福追求を」 ユヌスさん語る

2008年のノーベル平和賞受賞者で経済学者のムハマド・ユヌスさんを招いてのトークセッション「ユヌスさんを囲んで本音で語り合った。」この日行われたのは、3月7日から3日間に渡り神戸大などで行われた「ESD 記念館六甲ホールで行われ

た。学生らはユヌスさんに様々な質問をぶつけ、約2時間のセッションの間、本音で語り合った。

Dシンポジウム「KOBE」の最終日の企画。同シンポは、神戸大と賛同する彦根市100周年記念事業神戸プロジェクト実行委員会が主催。貧困・福祉・平和の観点に立ったソーシャルワーカーの重要性に着目、考究することを狙いとして開催された。

座った神戸大生らとの一問一答形式で行われた。貧困問題からストレス解消法まで多岐に渡る質問に、ユヌスさんは時にユーモアを交えて丁寧に回答。終始和やかなムードで対話した。約2時間に及んだセッションの最後には「他人から言われる幸福でなく、自分自身の幸福を全力で追求して」と学生らに語りかけた。

ユヌスさんは1976年、主に貧困層の女性に無担保で少額の融資を行い、自立を支援するグラミン銀行を創立。以来29年間様々なソーシャルビジネスを起業し、世界から貧困を撲滅



ユヌスさん（右）を囲んで話に耳を傾ける学生ら。（3月9日・百年記念館六甲ホールで撮影＝義原由樹子）

トクセッションは、半田状にユヌスさんを囲んで

す。その後には野上哲行学長から、ユヌスさんの功績を称えて神戸大学名誉博士号が授与された。ユヌスさんは「知らないことを知ってそれをいかに解き放つていくかが大事だ」とスピーチした。

【坂上正人】

【坂上正人】

地域史料の大切さに触れて 卒業論文報告会

兵庫県の地域史を研究した学生の卒業論文の報告会が、歴史資料ネットワークと神戸史学会の主催により3月8日、西宮市大学交流センター（ACTA西宮東館6F）で行われた。参加者約30人が、学生が仕上げた論文の報告に耳を傾けた。この報告会は平成17年から始まり、今回で4回目の開催となる。

報告会では、2人の神戸大の学生が発表を行った。そのうちの一人、山田美佳さん（文・4年）は「明治末期新設立過程にみる大阪府政の動向について」報告を行った。山田さんは「中学生のころの先生に『新世界が明治期に特徴的な場所であり、ここから大阪の近代文化が開かれた』という話を教わったことがきっかけで、このテーマを選択した」と話した。史料が膨大すぎて、収集がつかなかった。整理された史料が多かったため、もっと自身の史料について資料集めたかった」と史料集めの大変さを語った。

医学研究科教授 懲戒処分下る 遺伝子組換え実験における違法行為

神戸大は3月17日、神戸大大学院医学研究科の久野高義教授に停職6ヶ月間の懲戒処分を下した。これは、教授が主宰する分子薬理・薬理ゲノム学研究室において、遺伝子組換え生物等の使用等に係る拡散防止義務違反の事実があったためだ。同研究室は平成14年以降、実験実施場所として登録されていない廊下において遺伝子組換え生物を培養。さらに、遺伝子組換え生物を培養した培地を不活化することなく燃やせるごみとして破棄し、培地を取り出した後の実験器具を直接流しで洗浄。遺伝子組換え生物を含む汚水を下水管を通じて排水していた。大学側は、これらの違法な事実はいずれも教授に帰責されるべきであるとし、今回の処分内容を決定した。野上哲行学長は「今後も

感染症センターを設立 鳥インフルエンザ中心に対応

神戸大は平成21年4月に、感染症のウイルス解析やワクチン開発のための研究を行う「感染症センター」を設立する。同センターでは、鳥インフルエンザ専門研究者の国内外での連携を強化するほか、世界保健機関（WHO）の神戸センターなども協力。ウイルスの病原性・病態や遺伝子情報の解析などを行う基礎研究に加え、治療につながる臨床研究も進

4年間の集大成 発達・人間表現学科の卒業演奏

発達科学部人間表現学科の有志による卒業演奏会が、3月13日に東灘区のうはしホールで行われた。今年卒業する人間表現学科1期生のうち9人がピアノ、声楽、パフォーマンスなどで4年間学んできた「表現力」を披露した。ステージは9部構成で、神戸大学交響楽団の有志と共演。ドビュッシーの「喜びの島」を演奏した泉野静香さんは、本番前に「卒業でも研究している曲なのでとても思い入れがある。演奏でそれを表現したい」と話した。

【義原由樹子】

伏流水

沖縄で70年に一度しか咲かない花が咲いたという。70年。前回は見つかった。実に24年ぶりだ。無くなった眼鏡は、新しく福井県の鯖江市が寄贈するという。久しぶりに見る眼鏡。この大阪はもう映るのだろうか。『7年ぶりの』年に一度』という言葉は、出来事とときに興味深く、ときに神秘的に彩る。たまたそれは、出来事主体の表現だ。松たか子は多岐の場合、その出来事を「初めて」知る。どの人にとっても全く「新しい」。松下幸三郎の創業者、松下幸三郎は日々是新なり。すなわち日々是好日。という言葉を残した。毎日心があたらまれば、見聞するものが全て新しくおめでたい。毎日が新しく、毎日が門出だ。という松下幸三郎。今年の春も多くの人が神戸大の門をくぐり、多くの人と出会う。久しぶりに友人と会う。それもまた新しい。あらたまった心を以て、日々の発見や出会いを「新しい」と感じられる。そんな一年にしたい。

【坂上正人】

就活に…この新聞。
先が読めない時代だからこそ、読む。
朝日新聞
日本経済新聞
E-mailでのお申し込みはこのQRコードで!
info@asa-takaha.com
試読・購読のお申し込みは
ASA 高羽
0120-084013
神戸市灘区土山町 1-13
※但し、灘区在住の方に限ります
http://www.asa-takaha.com

【坂上正人】

選手とマネさんのカンケイ 野球部



ボールを縫うマネージャー (3月10日・日・甲台グラウンドで撮影=浅井淳平)

野球部の練習が行われているグラウンドではマネージャーたちが皆、同じ動作でバッターボックスを上げていた。何気ないトスに見えるが、一定のリズムで同じように何球もトスを上げる。最初は上手に出来なかったが、繰り返し練習することで習得したものと口を揃えて話す。

選手にとって、大事な練習道具であるボール。糸がすぐに切れてしまうため縫い直すことも仕事の一つだ。このような仕事をこなす中で心がけているのは

マネージャーらに選手へのメッセージを尋ねると「神宮(全日本大学野球選

選手と一つになって戦う意識が、チームに一体感をもたらしている。

また選手との距離が近いことも特徴の一つ。誕生日にはプレゼントやメッセージを送る。この日も、円になって歌を歌い、誕生日を祝っていた。

カヌー部

避けられない日焼け

「ファイター」。大きな声が響く。カヌー部のマネージャーが船をこぎ、選手を元気づける掛け声だ。自転車で乗り、水上で選手を陸上で追いかける。スピードを出しながら何回も繰り返すため、体力が必要とされる。ストップウォッチを片手にタイムを計りながらの運転も手慣れたものだ。最初は怖さもあるが、慣れると前が見えなくても運転できるという。

カヌー部のマネージャーを守る上で避けられないこと。それは日焼けだ。日焼け止めを塗り、長袖を着て

も焼ける。「夏、街に出て日焼けしていない人を見ると、白くて薄く見えるんです」と高田恵さん(国文・3年)は話す。

「部員たちはカヌーを始めたばかりの頃、みんなよく水に落ちる。そこから成長して大会で表彰されるのを見るのができるのだ」とすかね」とマネージャー

はうれしそうに魅力を話した。

練習への参加率が高いので「週間会わないと久しぶりという感じ」との言葉通り部員とのつながりも深い。選手である新井達也さん(海軍・3年)は「色々なサポートしてくれる。直してほしいところはなく」と感謝の気持ちを話した。

マネージャーの練習をサポートするトレーナー(3月13日・トレーニングルームで撮影=浅井淳平)

選手との練習をサポートするトレーナー(3月13日・トレーニングルームで撮影=浅井淳平)



選手にテーピングを施すマネージャー(3月10日・日・甲台グラウンドで撮影=田丸瑛梨)

マネージャー奮闘記 男子ラクロス部

午前7時30分。男子ラクロス部の練習が始まる。早朝に起きる選手は、選手だけが味わうものではない。

「やっぱり朝早いのは苦労します」とマネージャーの一人は話す。しかし続けて「寝坊してすっぴんのまま来ちゃうときもありま

す。恥ずかしさはないですね。選手に見られてもなんとも思わないし。選手は家族みたいなものです」と笑った。選手とマネージャーとの距離の近さを象徴する言葉だ。

練習中は飲み物を選手に持っていく、けがを負った

選手にはマッサージも行う。練習後は水の作り。選手からは「水」の音が飛ぶ。テーピングも選手が病院で聞いてきた方法だけでなく、自ら本で調べるところもある。

会計の面でもすべきことが多い。それでも不満はない。あえて挙げるとすれば「部費の滞納が多い」ことだという。

マネージャーから選手への一言を聞いた。「勝って1部へ上がったんだ。そして全日へ連れてって。選手に期待のメールを送った。

さんは僕らにとってはお母さんみたいな存在ですね」と話す。

日頃の楽しさも、試合の感動にはかなわない。ラクロスは大学から始める選手が多く、成長が見守れるという楽しみもある。同学生が試合で活躍したときには、「キョーってなる」のだという。

マネージャーから選手への一言を聞いた。「勝って1部へ上がったんだ。そして全日へ連れてって。選手に期待のメールを送った。

部員に愛を♡

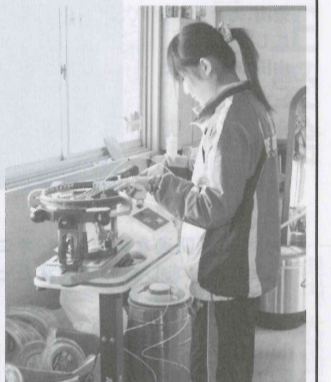
普段は裏方として選手のサポート役に徹するマネージャー。しかし、今回の特集では主役です。マネージャーと言っても、仕事や活躍ぶりは部によってさまざま。明日も頑張るマネージャーさんたちに……幸あれ!

マネージャー特集

硬式

テニス部

ひとりマネージャー……



ガットを張る宮原さん(3月10日・硬式テニス部部室で撮影=田丸瑛梨)

式テニス部でたった一人のマネージャーだ。「一人は仕事が多いのでやっぱり大変」。彼女の仕事は主にガット張りや部室の掃除だ。この日も掃除をしたという部屋は、きれいに片付いている。深さを感じていた。

「自分の頼りなさに不安になることもあるけど、選手たちが見守ってくれていることも感じます」と少し照れた表情で選手との絆の深さを感じていた。

アメリカンフットボール部

アメリカンフットボール部 真剣勝負!

アメフト部のマネージャー・トレーナーはまさにプロフェッショナル。他の部なら、マネージャーがすべてを受け持つ仕事を分業している。

チケットやポスター、イヤブックの作成などはマネージャーが行う。ほとんどが対外的な仕事であったため、選手に対してできることはトレーナーに比べると少ない。「試合前は私たちに信じてもらうことができないんです」とマネージャーの一人は話す。忙しいスケジュールをこなすこともありますが、それがやりがいでもあります。それに、この4年間の忙しさを経験しておけば、社会に出ても少々の忙しさは苦にならないと思えます」と前向きだ。

そんなマネージャー・トレーナーに対し、小澤主将(工・3年)はあぐまで選手と同じように接する。「お互い愛敬せずにはやらないので、仕事ができるはずです。厳しい言葉の裏には、言い尽くせない感謝の思いがある。

新入生のみなさん、入学おめでとう!
☆神戸大へようこそ☆

このスペースを埋めるのはキミだ!

神戸大学ニュースネット NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 <http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html>
関西学生報道連盟共同編集室=〒532-0011大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com



今すぐ見れるケータイ版はこちら

全日本フットサル選手権 フォルサ、プロ王者に健闘

4年生がみせた 最高のラストゲーム

PJMACUP 2009 第14回全日本フットサル選手権大会1次ラウンドが3月6日から8日にかけて、舞洲アリーナで行われた。フォルサは初戦でフウガ目黒に1-6で敗れ、第2戦でギャングに3-1で勝利。最終戦で名古屋オーシャンズに3-6で敗れた。この結果、フォルサは次ラウンド敗退が決まった。

最高の舞台で最高のプレーを。チーム全員が同じ言葉で全3試合を戦った。結果は1勝2敗、予選グループ3位。予選突破はならなかったが、己の力を出した。フォルサは、観る者の心を打った。

○第1戦、対フウガ目黒
アマチュア王者の壁高1-6。守備を捨てたのが大敗の原因だった。緊



名古屋オーシャンズ相手に同点ゴールを決め、喜びB田代。(3月8日・舞洲アリーナで撮影＝深江友樹)

順位	チーム名	勝点	勝敗
1位	名古屋オーシャンズ	9	3勝
2位	フウガ目黒	6	2勝1敗
3位	神戸大フォルサ	3	1勝2敗
4位	ギャング	0	3敗



ドリブル突破するB小仲。(3月8日・舞洲アリーナで撮影＝田辺翔吾)

後半は田代のゴールで追いつき、大金昇が見えた。点を取ってはいきまされ、それでも追いつくが、粘り強く戦い抜いたが3-6でタイムアップ。ス

先輩へ一歩近づく 初レース

日本学生20km競歩選手権

第3回日本学生20km競歩選手権大会が3月15日、石川県能美市周回コースで行われた。神戸大からは古川龍一(1年)と石飛雅基(発)が出走。古川は1時間31分31秒で23位、初めて20キ



初めての20キロで健闘する石飛。(3月15日・石川県能美市上戸舎前で撮影＝伊崎春樹)

新歓 スポーツ フェスティバル

4月19日、王子スタジアムで新歓スポーツフェスティバルが、開催される。当日、会場では神戸大アメフト部レイバンスと甲南アメフト部レッドギャングの試合、神戸大男女ラクロス部と甲南大男女ラクロス部の試合が行われる。それぞれの試合開始時間はラクロスが10時、アメフトの試合が14時。

両野球部栄光へ

硬式野球部、 始動

春季リーグ開幕に先駆け、硬式野球部のオープン戦が3月7日から始まった。

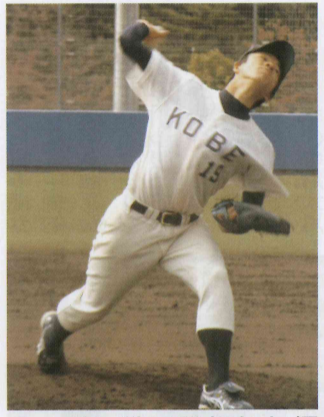
初戦の同志社、翌日の関学戦では先発投手が打ち込まれて大敗。合宿の疲れもあり、投打において精彩を欠いた。11日の姫路獨協大

ダツシユ

戦でも守りのミスにつけてしまった。3連敗。結果が重くのしかかる。

だが15日の大院大戦では、関学戦で打ち込まれた先発の福井(経営・3年)が5回無失点の好投。後続が打ち込まれて引き分けたため、オープン戦初の勝ち星はつかないまま、開幕に向けて手こたえを得た。

2番手で登板した内田(経)は、5月25日まで出場



オープン戦に登板した福井。(3月8日・関学戦)撮影＝伊崎春樹

海軍野球部、 勝ちたいねん

30連敗。海軍科学部の野球部のこの記録的な数字を聞いたとき、元阪神タイガース・鎌田実新監督に驚きはなかった。

課題は、部員数と練習量。課題は、部員数と練習量。課題は、部員数と練習量。

優秀部員表彰 爽やかバスケット王子受賞

ずいぶん髪が伸びた。服装はユニフォームからグレースーツに。引退から5か月経ったが、その精かな顔つきはそのままだった。



男子バスケットボール部の堀江剛司(理・4年)。神戸大初のアシスト王だ。3月18日に六甲ホールで行われた優秀部員表彰式。学長から直々に賞状とトロフィーを受け取ると、はにかんだ笑顔を見せた。

「受賞のことなんてつい最近まで全然知らなかった、素直にうれしい」。現在はバスケットから離れ、今春からの新生活に向けて準備をしている。引退直後は本格的なバスケットをやらないと宣言していたが、今は少し変わった。「新しい場所で、できたらやろうかなって」。たしかにトップレベルではないが、バスケットから離れることはできない。

身長は171センチ。バスケット選手としては小柄だ。でもだからこそ、体格差をカバーするために判断力とスピードが養われた。「小柄な選手でもやれるってことを見せたかった」。アシスト王に輝いたことで、それは見せ付けられた。

3連敗にも前向き アイホポアイリーグ

アイスホッケーの第26回ポトアイランドリーグが2月4日、開幕した。神戸大にとって、3年生を中心にして挑む初めての大会となったポトアイリーグ。川口主将(経営・3年)は、「新しいチームを試

3戦関学戦では0-9の完敗で、3連敗を喫した。しかし主将の口調は意外にも明るかった。「悲観してないですよ、結果じゃない収穫もあったから」と話した通り、関学戦では経験の少ない選手が出場させた。狙いは、強豪との試合で実力のある相手のプレーを間近で体験させること。今回のリーグを通して見えてきた課題。相手への当た



関学に完封負けを喫る神戸大アイスホッケー部。(3月2日・ポートランド)撮影＝伊崎春樹